

各 位

会 社 名 藤倉コンポジット株式会社
代表者名 代表取締役社長 森田 健司
(コード番号5121 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 高橋 秀剛
(TEL 03-3527-8111)

PBR 1 倍達成に向けた施策について 「変わる」から「変える」へ ～TRANSFORM～

当社においては、直近2年におけるスポーツ用品セグメントの業績急拡大により、売上高、営業利益、経常利益において2期連続で過去最高となりました。

営業利益率は直近の2年を除く過去10年平均の3.8%から直近2年では11.0%に、ROEについては同5.5%から11.8%へ、自己資本比率はこの10年で56.4%から82.6%となり、開示目標の全ての項目で目標値を上回ることが出来ました。EPSは平均44円から180円に上昇、年間配当額も12円～14円程度でしたが、昨年40円に増額致しました。

しかしながら、市場における当社の評価は、11月8日の当社株価の終値で1,176円、PBR 0.80倍と現在でも1倍を下回っており、徐々に1倍に近づいて来てはいるものの、十分に評価されている状況には至っておりません。PERについては、過去15倍程度で推移しておりましたが、直近では9倍を下回る数値となっております。

これは、資本収益性が不十分であり、将来の成長性に対する期待値が低いことが、当社に対する現在の市場評価であると真摯に受け止めております。

当社は、現在のPBR 1倍に満たない市場評価は、主に下記5項目に原因があると考えております。

- 1) スポーツ用品セグメント以外のセグメントの収益性の低さ
- 2) 将来にわたる持続的な成長を可能とする戦略の説明不足
- 3) この2年で急増した自己資本に対し、成長に向けた再投資の遅れ
- 4) 株主資本に対する株主還元が不十分
- 5) IR（投資者とのコミュニケーション）が不足

このような原因分析のもと、当社は改善に向けた計画として、大きくは下記4項目を実行して参ります。各項目のより詳細な実行計画については、12月の決算説明会と同時に開示できるよう進めております。

1) 稼ぐ力の強化

- ・各事業の資産について、資本コストを上回った付加価値を生み出しているか再検証を実施します。
市場環境の変化などにより収益性が低下した事業については、生産設備や生産拠点の統廃合を進め、資産のスリム化・強靱化を実行します。
- ・スポーツ用品セグメントについては、FRP製品の事業多角化とPR活動領域の拡大をもって、今後も安定した収益の確保に努めます。

*FRPとは：Fiber Reinforced Plastics（繊維強化プラスチック）

- ・人的資本への投資予算を大幅に増額します。社会の変化や当社事業環境の変化に対応した目指す人材ポートフォリオの実現、従業員のキャリア開発支援に向け、能力向上のための教育訓練や海外経験の機会提供を進めます。
- ・従業員のエンゲージメント向上に向け、評価制度の見直しを行い新たな分配制度を検討します。
- ・DX 投資・自動化投資についてはスピード感を持って実行継続し、生産性の向上を通じ、利益率の改善、稼ぐ力の強化につなげて行きます。
- ・ガバナンス強化に向けた投資を増額します。サイバーセキュリティリスクに対し優先的に取組みます。

2) 新成長戦略

- ・次世代自動車、医療、半導体、新エネルギー、安全（救命）を次の成長分野と位置付け、組織の見直しを行い、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報をこれら成長分野の拡大に向け再配置を実行します。
- ・新規事業創出に向け積極的に資金配分を行います。事業ポートフォリオの変革に取り組み、将来のシナジー効果創出の M&A やスタートアップ・大学研究機関との提携など幅広く検討を進めて参ります。
- ・R&D 部門への大幅な予算増額を行い、将来に向けた基礎研究の充実と開発体制の強化を進めます。
- ・社外取締役を中心とした経営戦略委員会を来年度に向けて発足します。

当社は本年 6 月の株主総会をもって監査等委員会設置会社へ移行致しました。当委員会では、中長期的で幅広い多様な観点から株主視線で重要な経営テーマについて検討を行い、取締役会の実効性を高めることでガバナンスの高度化を推進し、更なる企業価値向上を目指して参ります。

3) 新株主還元方針

株主資本については、将来の持続的成長に向けて積極的に投資活用して行くと同時に、安定的・継続的な配当とより充実した株主還元という観点から、株主還元方針の見直しを決定いたしました。

なお、新株主還元方針の詳細内容につきましては、本日開示の、「株主還元方針の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

4) 投資家とのコミュニケーション向上

当社は従来より、機関投資家・アナリストを対象とした決算説明会を年 2 回（第 2 四半期決算・期末決算）開催し、決算情報、中期経営方針の概要等について情報開示を行っています。また、個別面談についても随時、積極的に実施しています。

今後につきましては IR 交流会を発足し、計画に対する進捗状況の説明など、今まで以上に積極的に対話の機会を設けて参ります。

これからも長期にわたり安定した投資先として投資家の皆様から信頼されるよう努めてまいります。今後もより多くの皆様の長期安定継続保有をよろしくお願い致します。

以 上